

地球環境に優しいセラミック製

いつから

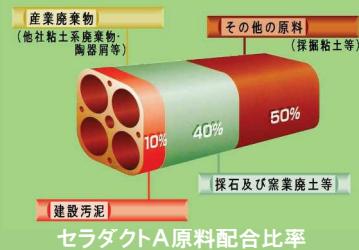
セラミックの歴史は古く、太古から人類の身の回りにあり、共に歩んできた最初の合成材料である。

なにが

セラミックはその製造過程で、資源の有効利用やリサイクルが組み込まれている地球環境に優しい素材であり、技術である。

そして

1998年、当時の建設省中部地建との共同研究で公共工事で発生した「建設汚泥」を原料に取り入れて、「資源循環型リサイクル製品」として「NETIS」に登録。(期間:1998年~2017年4月)



リユースが
可能

リユース可能

eco

リサイクル製品

地球環境に優しい

既設管路の再利用(リユース)

いつ

2001年6月~8月(敷設は1992年建設時)

どこで

上信越自動車道:八風山トンネル(3,997m)上り線

どうだった

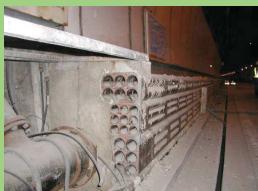
部分的なインバート設置工事に伴い、監査廊の改修工事を行うことになり地球環境保護の観点からセラミックの特性(偏平・変形・腐食・変質しない)を最大限に活かし、撤去した既設管路を再利用した。

そして

改修時に発生した一部の撤去品も、粉碎して路床材としてリサイクルでき、管材の再利用と併せ、「ライフサイクルコスト」を低減させる地球環境に優しい管材です。



坑口付近



監査廊部本体撤去



管路撤去後



再利用した多孔陶管



敷設完了